

2019 年（令和元年）5 月 30 日（木） NO 134 号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 商号	株式会社 ケイプロ	https://k-puro.co.jp
◆ 屋号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】

冷泉家時雨亭文庫



TOHOAUTO INC. TOHO

北海道遺産
Hokkaido Heritage



我が国一の歴史と実績 since 1957
公益財団法人 アイメイト協会

三浦綾子記念文学館
MIURA AYAKO LITERATURE MUSEUM

今月の言葉



毎年 6 月は「食育月間」とされています。

「いただきます」は、食べるという言葉を手紙にしたり、丁寧語にしたものであり、「さあ、一緒に食事を始めましょう」という合図でもあります。

さらには、その食事を与えてくれた「天地自然

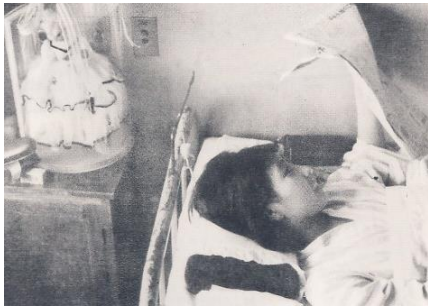
の恵み」「食べ物そのもの」「一家の生計を支えてくれている家族」等への感謝の心が込められており、これがわが国の食文化の精神的基盤になっています。

私たちは「いただきます」「ごちそうさま」という言葉と、そこに込められた感謝の心を、子や孫へ大切に伝えていきたいものです。

今月の良い話

看却下（かんきゃつか）

『看却下』は禅語である。脚下を看よ（あしもとをみよ）、という教えである。
自分の足下がどうなっているかを見ないで、新たな一步を踏み出すことはできない。私たちが生きていく上でもっとも大事な原則を、たった三文字で余すところなく表現している。



これに関連して思い出す話がある。

教育者東井義雄氏がその著『自分を育てるのは自分』
に書かれている話である。

大島みち子さんという女性がいた。

子供の頃は頭もよく、体も健やか、本当に可愛い、
いい子だった。

その大島さんに異変が生じたのは高校に入った時だっ

た。顔の軟骨が腐るという難病にかかったのだ。

その治療のため、高校は5年かかってようやく卒業した。

彼女は京都の同志社大学文学部に進学。だが、病気が再発、長い病院生活となる。

その間に河野誠さんという学生と知り合い、手紙を取り交わす間柄になったりする。

この大島さんが書き残した文集を集めたのが『若きいのちの日記』という本。

東井氏はこの本に、いまここで何をすべきか、人間としてもっとも大事なことを教えられたという。

大島さんは書いている。

「病院の外に健康な日を三日ください。一週間とは欲ばりません。

ただの三日でよろしいから病院の外に健康な日がいただきたい」

「一日目、私はとんで故郷に帰りましょう。そして、お爺ちゃん肩をたたいてあげたい。

母と台所に立ちましょう。父に熱燗を一本つけて、おいしいサラダを作って、妹たちと
楽しい食事を囲みましょう。そのことのために一日がいただきたい」

「二日目、私はとんであなたのところへ行きたい。あなたと遊びたいなんていいません。

お部屋を掃除してあげて、ワイシャツにアイロンをかけてあげて、おいしい料理を作っ
てあげたいの」

「三日目、私は一人ぼっちの思い出と遊びましょう。そして静かに一日が過ぎたら、

三日間の健康にありがとうと、笑って永遠の眠りにつくでしょう」

自らの人生を看却下し、見事に生きた人の姿をここに見る。

若くして逝った女性の生き方に倣い、私たちも自らの看却下を深めていきたい。

////////////////////////////////////

記事提供 致知出版社

今月の良い話

貧乏の法則

どんなにいい人でも、自分が一番大事であることに変わりはありません。
自分にある程度の余裕がなければ、人のことなど考えることはできない。
それが人間というものです。

だから私は、自分を優先する人を非難する気など毛頭ありません。
ただし、自分のことだけを考えている人はどんどん貧乏になっていきます。
それは因果応報などという遠回りな話ではなく、もっと現実的な経済の話なのです。

.....

例えば朝から晩まで自分のことだけをやるとどうなるか。

自分の朝食を作り、自分の部屋を掃除し、自分の衣類を洗濯する。

これでは収入ゼロです。

料理が苦手、裁縫が苦手、パソコンが苦手、人と会るのが苦手 ~などなど、人は数多くの
の苦手を背負って生きています。

自分一人で完結できることなど、現代人にはほとんど皆無でしょう。

.....

ではどうすればよいか。

苦手なことは全部人にやってもらえばいいのです。

その代わりに得意なことでお返しをする。

それが社会の基本的ルールなのです。

部品が作れなくてもスマホは持てる。

不器用だったとしても髪は切ってもらえる。

材料を提供しなくても料理は食べることができる。

それは膨大な人数による“物々交換”が行われている
ことで成り立っています。

自分が最も得意とする事柄で、多くの人を埋めていく。

するとその引き換えに、私が苦手とすることを誰かがサポートしてくれるのです。

多くの人を手伝うほど、多くの人が私を手伝ってくれる。



.....

こうしてどんどん快適になっていく。

そのきっかけは、いかに多くの人の役に立つか。

そのためには、いかに自分が得意なことに集中するか。

それが何より重要なのです。

誰かのために私がやってあげたことと、私のために誰かがやってくれたこと。

前者が多くなればそれは貯金という形で残ります。

後者が多ければ借金という形で残ります。

豊かになりたければ、自分を豊かにする取り組みが必要です。

それはつまり誰かの役に立つこと。

自分のことだけをやり続けると、人は貧乏になるのです。

//////////

安田 佳生（元ワイクブ 社長・現ブランドファーマーズ 代表）

記事提供 日経トップリーダー

事件ファイル NO134

バイク盗

発生日時 2019年5月3日(金) 01:33 分ごろ
発生場所 千葉県佐倉市
発生内容 バイク盗(125CC スクーター・グレー色)
被疑者 20歳前後と見られる男3人
犯行概要 バイク2台で現れた3人は迷うことなく駐輪場前にバイクを停車していることから、駐輪場の位置をすでに把握していたものと思われる。
駐輪場手前と奥のバイクを相互に物色していたことから盗難するバイクは当日決めたものと推測する。リーダー格の男Aは2台の防犯カメラに共に目線を送っていたため、カメラに映ることを知りながら犯行に及んだものと見られる。犯行におよぶ所要時間は26分だった。
防衛所感 バイクは前輪を鉄製の車止めパイプに頑丈なチェーンで固定する2重ロックをされることをお勧めします。



プロ太の小話集

NO134

『取引先の会社』

営業マン 「いつか言おうと思ってたんですが・・・」

担当者 「なんでしょう？」

営業マン 「私は靈感が強い方なんですが、いつもお宅の 事務所の一番奥の机に、下を向いて座っている青白い顔をした老人の姿が見えるんです。」

担当者 「ああ、あれはうちの社長ですよ。」



/////////
今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

記事で取り上げた「貧乏の法則」はプラスマイナスゼロがスタート基準になっています。道徳科学の考えでは、人々は生まれた時から公共のインフラをはじめ、先人たちが造り上げた様々な恩恵を受けて生活ができているため、すでに多大な借財を背負っており、それを返済するために世の中の役に立ち日々精進するよう教えられます。ゼロからのスタートかマイナスからのスタートか、皆さんはどちらの考え方に心がなびかれるでしょうか？

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)